

芸術の森地区社会福祉協議会

ばんけいぬま

・芸術の森地区福祉のまち推進センター

創刊号

平成10年12月4日

●発行
情報啓発部



ふれあうまち

芸術の森地区社会福祉協議会

会長 櫛引清和

員の皆様と民生委員の皆様と共に力になります。我々が出来る事は地域の方々の協力が必要なのです。どうぞ皆様色々なご意見を出してください。

九月八日、福祉のまち推進センターを設立しました。此のセンターは地域に住む皆様が安心し、幸福に暮らせる街創りをすることが目的です。

その為には、小地域ネットワークを基本に地域制をいかし、どのようにしたら地域の人達と触れ合い、話合いが出来るのかを課題として、各町内会より推薦いたいたい推進委員の皆様、そして民生委員、町内会福祉部の方々

と話し合い、より良い福祉の街を創つて行かなければ成らないのです。

誰もが簡単にできることは、隣同士の安否確認そして声掛けです。

また、老人クラブの皆様にも力をお借りし、老人一人一人が自立出来る様に話し合いの場を創つて頂きたいと思います。体に障害の有る方達も自由に街へ出掛けられる様に、推進委

と話し合い、より良い福祉の街を創つて行かなければ成らないのです。

事も沢山出てくる事だと思います。地域の皆様、将来子供達の為にも、地域福祉のまち推進センターの地盤創りのご理解を頂き、ご協力をお願い致します。

出来ることから取り組んで、隣近所の人達が、自然に助け合つて行ける環境づくりを、息長く続けて行きたいと思います。

最近では、都市化に伴う近隣関係の希薄化や個人のプライバシーが尊重されるあまり、かつて地域社会が持っていた「助け合いの精神」が徐々に薄れ、隣・近所の人と数日間顔を合わせなくてても気にもならないという風潮が広まりつつあります。

「住み慣れた家で、気心の知れた近所の方々と、老後の心配もなく、安心して暮らしたい」というのが多くの方々の願いだと思います。しかし、いざ自分の周りを見渡してみると理想どおりにはいかなくなりそうだというのが現実ですし、これから

高齢化・少子化社会を考えとき、何とか解決策を見つけて行かなければなりませんが、一人個人・一家庭では手にある問題です。

去る九月八日、「芸術の森地区福祉のまち推進センター」が地区会館内に開所し、同時に各町内会に「福祉推進員」の方々が誕生し、それぞれの地域で活動を始めることになりました。



ばんけいぬまの創刊に寄せて

芸術の森地区連絡所

所長 田口利昭

芸術の森地区 福祉のまち推進センター開設

日時 平成10年9月8日(火) 15:00~
場所 芸術の森地区会館 2階ホール

開設式次第

1. 主催者挨拶

芸術の森地区社会福祉協議会 会長 櫛引清和

2. 来賓挨拶

札幌市南区長	藤田辰公	様
札幌市社会福祉協議会 常務理事	西村憲一	様
札幌市南区社会福祉協議会 会長	天野健三	様

3. 福祉推進員委嘱状交付式

4. 記念講演

演題 「地域からSOSをなくそう! ~介護保険をにらんで~」
講師 特別養護老人ホーム和幸園

施設長 村井健三氏



福のまち推進センターの開

行がなければなりませんが、一

個人・一家庭では手にある問

題です。

芸術の森地区福祉のまち推進

センターの開所と、この「広報

紙」の発刊をお祝いいたします

とともに、関係者の皆さんのお

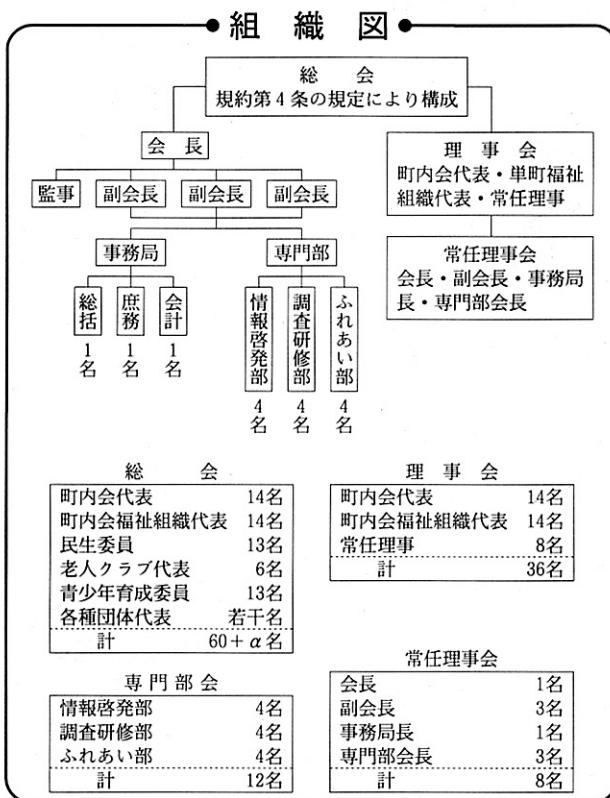
後一層のご健勝とご活躍をお祈



「福祉のまち推進センター」の開設に寄せて

地区社会福祉協議会調査研修部 野中晴彦

ささえあうまち



芸術の森地区
福祉推進員を受けて

町内の福祉保健部の役員をさせていただいているのですから、何か自動的に、芸森地区の

各町内会の皆様には、平素より福祉活動について、ご理解とご支援を賜り厚くお礼と感謝を申上げます。皆様はすでにご承知の様に我が国の高齢化は、諸外国でも経験したことのない早さで進み、21世紀には、四人に一人が高齢者になるといわれております。市の福祉活動を協力に推し進める方針に呼応し、いよいよ地域福祉活動の拠点として「福祉のまち推進センター」が開設されました。「箱を作つて魂入れず」にならない様、地域福祉を住民サイドで推し進め

て行く機能をもたせて行かなければなりません。高齢者の自立を支え、介護の不安を解消し、心安らかに生活していく様、地域住民一体となって速やかに「小地域ネットワーク」を

整備する必要があります。今回会長から委嘱された、福祉推進員の皆様には、各地域の代表として、福祉にご理解と情熱をお持ちであり選ばれた方々ばかりであります。町内会にあっては、一番身近なボランティアとして、区民生児童委員と連携を保って、今後の活躍が期待されます。地域のお独り暮らしの高齢者、身体の不自由な方々との触れ合い、見守り、又は介護を必要としている方々を連絡して戴き、地域活動を担つて戴くことが福祉推進員の仕事であります。

地域住民の皆様におかれましては、当社会福祉協議会の活動にご理解と絶大なご支援をお願い申し上げます。今後とも皆様のご要望の意を対してより一層努力を重ねてまいります。

次回の委員会で、今後の活動方針が話し合われる予定ですが、活動の基礎となる対象者の範囲、担当者の貼り付けなどをきめる予定です。

常盤団地町内会福祉部 部長 三上能生

このたび、芸術の森地区の各町内会に地区福祉推進員が設置されることになり、アートパークを受け、地域福祉の充実・活動の推進に取り組むことになりました。現在、日本は六十五歳以上の高齢者の人口が全人口の十四%を越えており、高齢社会となっています。二十一世紀には四人に一人が高齢者になると予想されています。そこで、今後ます人生の先達である高齢者の

石山東町内会福祉部 部長 野中晴彦

まだ手さぐりの状態で、他域の方々のお話を聞いておりましたが、皆さん同じような状態の方々も多いようで、又、動き出して交流をもつている地域の方々もおられるようです。急いで動き出すとプライバシーの心外となりますが、云われますし、あまり考えない時間がどんどんすぎて、春から夏とやがて冬になると又、閉じこもりそなうなので、委員の方々と話しあつて、動く積もりでし、動かなければ、推進委員の役を受けた価値がなくなります。考えていたのでは始まり集まり設立の委員会を開催することができました。

未経験の方ばかりですので、とりあえず先進地域の活動を参考にしつつも、当町内会の実情にあわせて、あまり無理をせず、地域に根ざした、長続きのできる活動を目指していこうという方針が確認されました。

次回の委員会で、今後の活動方針が話し合われる予定ですが、活動の基礎となる対象者の範囲、担当者の貼り付けなどをきめる予定です。

常盤団地町内会福祉部 部長 小川嬉栄子

このたび、芸術の森地区社会福祉協議会福祉のまち推進センターの開設に当たり、創刊号を発行することになりました。これからの中、各町内会の働きかけも軌道にのることと思います。お互い思考錯誤をくり返し乍ら、助け合いの気持ちで、がんばろうではありませんか。スタッフ一同も、多くの方に読んで頂きたいと思います。自分達の幸せのためにも前向きのご意見等がありましたら、ぜひ、ご報いただく様、お願ひいたします。

空沼岳（一、二四九メートル）は、市境にあり、万計沼の他に小沼が七ヶ所ある。万計沼は、標高九一〇メートルの位置にあり、湧水が出て、真駒内川の源流であります。登山道は、「かわせみ」の住処にもなって自然そのものである。沼のほとりに空沼小屋があり、三十名程の収容人数が出来る。昭和三年（一九二八年）故・秩父宮の御下賜金で建設された由緒を持つ山小屋もあります。真駒内川の源流そのもので、又、生命の誕生は水とも云われています。此の度の社会福祉協議会の開設に当たり、相通じるものとし、会報を「ばんけいぬま」と名付けました。

アートパーク町内会福祉部 部長 石塚裕昭

わが町内会 福祉部活動の歩み

町内会長星重男様を、福祉推進委員会の会長にお迎えし、民生児童委員三名、福祉推進員十

二名計十六名で四月二十六日(日)に活動を開始致しました。初めて

に民生児童委員の協力を得て、高齢者の実態調査を行い、十三

名の独居老人を把握し、それぞれ推進員を配置し担当を決めました。初年度のことでもあり、推進員の活動が容易で無理のない内容であることを前提に、高齢者の話し相手や、朝夕の挨拶の中で安否を確認することから始めました。期一回の定例会を開き、委員の活動状況をお聞きしたり必要な資料を提供し研修を行ない資質の向上をめざして活動し、地域のネットワーク作りを開拓しております。

この度、芸術の森地区社会福祉協議会福祉のまち推進センターの開設に当たり、創刊号を発行することになりました。これから

の少子高齢化社会が急速に進む中、各町内会の働きかけも軌道にのることと思います。お互い

思考錯誤をくり返し乍ら、助け合いの気持ちで、がんばろうではありませんか。スタッフ一同も、多くの方に読んで頂きたい

と思います。自分達の幸せのためにも前向きのご意見等がありましたら、ぜひ、ご報いただく様、お願ひいたします。

『ばんけいぬま』の由来

方が、地域社会においてその豊富な経験や知識が十分に尊重され、活用されるような環境を作つていかなければなりません。そ

のためにも、地区福祉推進員及び地域住民の皆様が一緒に「福祉のまち」作りを進めていくこ

とが大切となります。なお、今後の具体的活動は町内会役員会議等で決定したい取り組んでいきたいと思います。

まだ手さぐりの状態で、他域の方々のお話を聞いておりましたが、皆さん同じような状態の方々も多いようで、又、動き出

して交流をもつている地域の方々もおられるようです。急いで動

き出すとプライバシーの心外となりますが、云われますし、あまり考

えていたのでは始まり集まり設立の委員会を開催することができました。

未経験の方ばかりですので、とりあえず先進地域の活動を参考にしつつも、当町内会の実情にあわせて、あまり無理をせず、地域に根ざした、長続きのできる活動を目指していこうという方針が確認されました。

常盤一区町内会福祉部 部長 小川嬉栄子

このたび、芸術の森地区社会福祉協議会福祉のまち推進センターの開設に当たり、創刊号を発行することになりました。これから

の中、各町内会の働きかけも軌道にのることと思います。お互い

思考錯誤をくり返し乍ら、助け合いの気持ちで、がんばろうではありませんか。スタッフ一同も、多くの方に読んで頂きたい

と思います。自分達の幸せのためにも前向きのご意見等がありましたら、ぜひ、ご報いただく様、お願ひいたします。

アートパーク町内会福祉部 部長 石塚裕昭

この度、芸術の森地区社会福祉協議会福祉のまち推進センターの開設に当たり、創刊号を発行することになりました。これから

の中、各町内会の働きかけも軌道にのることと思います。お互い

思考錯誤をくり返し乍ら、助け合いの気持ちで、がんばろうではありませんか。スタッフ一同も、多くの方に読んで頂きたい

と思います。自分達の幸せのためにも前向きのご意見等がありましたら、ぜひ、ご報いただく様、お願ひいたします。

アートパーク町内会福祉部 部長 石塚裕昭